

市区町村名	愛媛県 <small>くまこうげんちょう</small> 久万高原町	担当部署	久万高原町立病院統括事務局
		電話番号	0892-21-1119

1 取組事例名

コロナ禍における町立病院のオンライン化の推進と地域に飛び出し活動する医療人材の必要性について

2 取組期間

令和元年度～（継続中）

3 取組概要

久万高原町立病院では、地域を丸ごとケアする久万高原町版地域包括ケアの理念の下、医療人材が地域に飛び出し健康視点で町民の皆さんと協働してまちづくりに取り組むコミュニティケアを推進している。コロナ禍において、これまでコミュニティケアとして取り組んできたサロン活動等から、新たにICT（オンライン）を活用したオンライン面会を始めとする取組と、これらの活動を通じて繋がりはじめた人材のネットワークについて紹介する。

4 背景・目的

新型コロナウイルス感染症という新種のウイルスに対する町民の不安心理の広がりや、感染症防止対策として入院患者に対する面会禁止措置を実施するに当たり、身内に自由に会えないという家族の不安を少しでも解消するため取り組んだ。

5 取組の具体的内容

令和2年に入り、新型コロナウイルス感染症が全国で広がりを見せ、これまでコミュニティナースが中心となり、地域に飛び出して取り組んできたコミュニティケア活動（サロン活動等）も、感染状況の深刻化により活動の自粛を余儀なくされることとなった。このような中で感染症防止対策として新たに取り組んだことがオンライン面会であった。コミュニティナースを中心にして、オンライン会議システムを活用し始めたこの取り組みであったが、入院患者への面会禁止措置を実施する中で、タブレット端末とZOOMアプリを活用し、院内の別室に待機する家族と病室の入院患者とをオンラインで結び、「会話をする」「表情を見る」ことで、家族と患者、双方の不安を払拭し、家族のつながり、気持ちの温もりを感じていただくことに役立てた。家族の負担軽減のため、自宅と病室とをつなぐことにも深化させ、さらにはオンラインの特色を生かし、国境を越えた家族のつながりをも実現することとなった。海外在住でしばらく会えない方からの面会依頼もあり、コロナ禍がさらに深刻化する海外では帰省できない厳しい環境の中の心の支えにもなっている。このオンライン面会を機にオンライン健康相談に取り組む準備を進め、さらにはオンライン診療の準備をしている。また、これらの取り組みは役場でも応用され、地域おこし協力隊のオンライン面談を当院で行ったりもした。

オンライン診療ではサポートナースとしてコミュニティナースが対応し、コロナ対策や医師の負担軽減も兼ねてコミュニティナースが患者宅に行き、診療をサポートする取り組みを進めようとしている。

このような取り組みは四国内のコミュニティケアに尽力したい医療人材の共感を得て、今では四国内のコミュニティを推進する四国内の人材がネットワークをつくり情報共有を図りながらよりよい住民サポートを考え実践している。

6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）

これまで、業務上のミーティングで活用していたオンライン会議をオンライン面会に応用した。この経験が院内での会議、健康相談、診療と続いており、これまでマンパワーで地域に寄り添い活動していたコミュニティナースがサポートナースとして活躍できる新たな環境も生まれた。

7 取組の効果・費用

【効果】

オンライン面会が、町内の面会者だけであったものが、遠く離れた方が会いたいと思い、実際に会える環境をつくれたこと。

入院患者の面会のみならず、コロナ禍の中、オンラインを通じた出合いやふれ合いを業務に応用できたこと。

地域間の距離がなくなり四国内で同じ志を持つ仲間（ネットワーク）ができたこと。

【費用】

ZOOM アプリ：25 千円、オンライン診療アプリ 330 千円、PC（タブレット）端末等購入費用：100 千円

8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦労した点）

具体的にだれが・どう・どのようにとルール化を進めることが課題となった。ただ、本町では従来からコミュニティナースが存在し、医療機関と町民をつなぐ取り組みを進めていたので、そういった人材が中心となって試行錯誤しながらも前向きに取り組むことができた。

高齢者が多く、タブレット機器の操作方法やリモートでの対話に慣れていないことが多いことからサポートを行う人材が必要である。これには普段から地域に溶け込んでいるコミュニティナースを活用したが、医療現場において人手が十分に足りている状況では決してなく、地域に自ら飛び込み町民を明るく元気にできる等の資質をもった職員の育成・確保に苦慮している。

9 今後の予定・構想、

コミュニティナース等が取り組むオンライン診療の補助（サポートナース）の仕組化を実現したい。

また、医療業界だけでなく、国民の生活のあらゆる場面でコロナ禍の影響により故郷に帰れない、会いたい人に会えないという状況が発生している。こういった人に「会える」機会を提供することで人と人との新しいつながりを生み出し、心の健康・体の健康の実現を更に広いネットワークの中で提供したい。これはコロナ禍が終息しても必要であり、ぜひとも続けていきたい。

10 他団体へのアドバイス

コロナ禍の中、医療人材はまちづくりの中で幅広い活躍をしてくれる。彼らの経験から来る安全・安心な生活を実現するためのアイデアをぜひ活用してほしい。

近年は地域医療に対する意識の高い看護師が増えている。医療機関の中にも外にも、医療人の立場で地域貢献・地方創生ができる環境をさらに深化させ、共に活動する仲間を久万高原町は探しています。

11 取組について記載したホームページ

オンライン面会の案内 <https://www.kumakogen.jp/soshiki/11/10482.html>

久万高原町立病院のFacebook <https://www.facebook.com/kumakogen.town.hospital>

コミュニティナースの取り組みFacebook <https://www.facebook.com/KumakogenCommunityNurse>

オンライン相談（地域おこし協力隊） <https://www.kumakogen.jp/site/iju/10590.html>

オンライン診療・健康相談アプリ Clinics <https://clinics.medley.life/>